

飼料用米に適した品種の検討

要約

河内地方における飼料用米の専用品種の比較検討を行った結果、「夢あおば」、「クサホナミ」が主食用品種「あさひの夢」に比べ増収となることが明らかとなった。

○ 展示のねらい

県奨励品種・認定品種等を比較検討し、地域に適した飼料用品種を検討する。

○ 主な成果

成熟期調査

	出穂期 (月. 日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	成熟期 (月. 日)	倒伏程度
クサホナミ	9月5日	84	17.5	235	10月20日以降	0.0
ホシアオバ	8月15日	89	20.4	248	10月7日	0.0
夢あおば	8月11日	78	20.2	245	9月25日	0.0
あさひの夢	8月22日	75	17.8	354	10月4日	0.0

収量及び収量構成要素

	穂数 (本/m ²)	総籾数 (百/m ²)	一穂籾数	登熟歩合	千粒重 (1.8mm上)
クサホナミ	235	376	160.1	60.3	22.7
ホシアオバ	248	389	156.9	59.6	28.9
夢あおば	245	293	119.5	89.9	24.4
あさひの夢	354	288	81.3	89.8	21.9

	粗玄米重 (kg/10a)	整玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	
クサホナミ	486	456.5	29.9	※クサホナミは 縞葉枯病、稲こうじ 病等により減収
ホシアオバ	656	614.9	41.4	
夢あおば	656	635.8	19.9	
あさひの夢	557	519.2	38.1	

※移植日：6月1日 堆肥：2t/10a 基肥窒素：5.6kg/10a 追肥：無施用

○ 今後の方向性

「夢あおば」、「ホシアオバ」については「あさひの夢」と比較して、約2割の増収が確認された。更に増収を図るためには、生育量に応じた追肥の検討が必要。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315